

# 花うさぎの「世界は腹黒い」2

日本が普通の国になるように。産経新聞を応援しています。

ワック出版から歴史通11月号がこのほど発売されました。総力特集はなんと「韓流はウソだらけ」と願ってもないテーマ

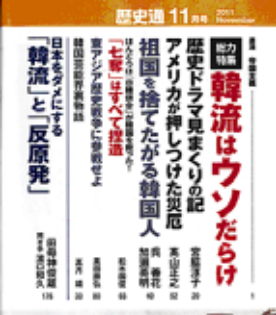
## アメリカが押しつけた災厄

ジャーナリスト 高山正之



**アメリカが押しつけた災厄**  
 歴史通11月号の特集は「韓流はウソだらけ」です。この歴史通は季刊としてスタートし、現在は二ヶ月に一回の旬刊に昇格していますが、このくらいのペースの発行が読む方にとりては、じっくり見られてありがたいし、勉強になりますね。

「韓流はウソだらけ」特集は宮脇淳子、高山正之、呉善花・加瀬英明の対談、松木国俊、黒田勝弘、高月靖の各氏が、気合いの入った記事を展開しています。



また「日本をダメにする韓流と反原発」をテーマに、濱口和久氏が田母神俊雄氏にインタビューしているのも注目です。



元凶は米のプロパガンダ



ところで、先にチャンネル桜から、闘論！倒論！討論！「フジテレビ・NHK問題、マスメディアの終焉」が放送され高い評価を博しています。中でも、高山正之氏が番組中盤で語った「戦後の朝鮮人問題はアメリカの目論見だった」という話の内容は、わざわざその部分だけを編集した動画が出回るほどのインパクトがありました。

私も感心して、文字起こししてエントリーに上げようかと考えていましたが、この歴史通に寄稿している内容とほとんど同じですので、こちらを紹介致します。

私が「ええ~~~~！」と目から鱗だったのは、在日朝鮮人が戦後のどさくさに「戦勝国民」を勝手に名乗ってやりたい放題だったのは、GHQが黙認していたから、というのが私のこれまでの認識だったのです。が、実は積極的にそれを「仕掛けたのがアメリカだった」という仰天の解説が高山説でした。高山氏の寄稿はフルボリュームの13ページと、気合いが入っており、そのごく一部しか紹介できません。是非、書店でお求めの上で精読をお勧めします。

(歴史通11月号は定価860円でワック出版から好評発売中です。)

マスコミの正体 検索

フジテレビ抗議デモ 検索

政治プログランピング 検索

NHK抗議デモ 検索

ルーズベルトは「朝鮮人に国家を運営する能力はない」といって公館をたたんでしまった。その朝鮮を将来の「枷」とみて日本に押しつけたのだー

## 米国のプロパガンダ

(前略)ルーズベルトはさらに「日本は支那を侵略する残忍な侵略国家」というプロパガンダを始める。エドガー・スノー、パール・バック、写真誌『LIFE』もその一翼を担った。米、独の後押しで支那が第二次上海事変を仕掛けるとルーズベルトは「(日本は)侵略という疫病をばらまく黴菌国家だ。世界から隔離してしまえ」というquarantine speech (隔離宣言)をしている。

上海事変に続く南京陥落では大虐殺があったとNYタイムズ記者と米国人宣教師が言い立てた。これもルーズベルトのプロパガンダ作戦の一環だった。そしてそれが対日経済制裁、開戦へとつながっていく。

しかし日本を中傷し続ける米国には大きな弱点があった。ウイルソンが日本の人種平等案を無理やり葬ったのは米国が奴隷制国家であり、その時点でも黒人や苦力(クーリー)上がりの支那人が白人と同じホテルに泊まれないなどの差別を公認するジム・クロウ法が生きていた。ほかにもインディアンに対する民族浄化やハワイ王国の乗っ取り、フィリピンでの二十世紀最初のジェノサイドもある。

対して日本は世界でも稀有な奴隷のいない国だった。日本の戦争には略奪も強姦もなかった。人道的な捕虜の処遇も世界に知られていた。日本の品格は例えばイザベラ・バードやラフカディオ・ハーンがすでに紹介していた。それを何とかしなければ米国のいう「日本は残忍な侵略国家」の宣伝の底が割れる。

## 繰り返し言えば歴史になる

それなら日本のイメージを破壊してしまえというのがF.ルーズベルトの作戦だった。前述のNYタイムズの南京大虐殺でち上げもその一環だし、パターン死の行進も同じ。ただ「奴隷のいない国・日本」には彼も困ったが、ここで先代ルーズベルトの布石が生きてくる。

先代はいつの日か日本衰亡の役に立つはずだと思って朝鮮を日本に押し付けていた。そうだ朝鮮半島で日本人は朝鮮人を奴隷にしていることにしよう。幸いあの半島は世界の秘境、誰も実態を知らない。

F.ルーズベルトは一九四三年、カイロ会談で初めて「朝鮮人は奴隷状態にある」と言い出した。彼は翌年八月十二日にも「アジアの人々は日本の奴隷になることを望んでいない」(ヘレン・ミアーズ『アメリカの鏡日本』)と語った。「事実などどうでもいい。繰り返して言っていれば歴史になる」(江沢民選書)という戦法だ。(次ページへ)

『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画  
 マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見！  
 「凜として愛」「氷雪の門」「誇り~伝えよう日本のあゆみ~」「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」  
 わからない事は調べましょう！  
 iza プログランピング 【全体】4位 【政治】1位 (2011年10月8日時点)  
 検索

かくて過去、一度もフットライトを浴びたことがなかった朝鮮人が日本の敗戦とともに「日本の奴隷だった哀れな民」として国際舞台に押し出されてきた。ジム・クロウ法は例えばマニラ、バンコクのホテルでも同じだった。白人のホテルには「native」の支那人や朝鮮人は泊れない。ただ日本人だけは「westerner」として扱われた。朝鮮人は日本人に憧れ、創氏改名を待たずにみな日本名を名乗っていた。

日本名で舞台に出された彼等は「いや日本人に無理やり名前まで変えさせられた」と言った。ルーズベルトは彼等のそういう狡(ずるさ)を期待していたのだ。

一九四五年八月十五日、日本は降伏し、GHQがルーズベルトの遺志を政策化していった。終戦二カ月後に日本人の「奴隷だった」朝鮮人の政治組織「在日朝鮮人連盟」が結成され、声明を出した。「我々は今まで日本から搾取と奴隷的差別待遇を受けた。日本の敗戦で解放された現在、我々は連合国人であり、その待遇を受けることが当然であることを日本人に知らせなければならない」

これに先立ってGHQはプレスコードの形で「進駐軍兵士の犯罪の報道禁止」(九月一日)を命じていた。同時に日本の警察に対しても進駐軍兵士の「逮捕、裁判を行う権利の放棄」を呑ませた。(中略)

この治外法権の対象にGHQは二カ月後の十一月、「朝鮮人、支那人」も含めるといふ通達を出した。「解放」された朝鮮人は警察にも捕まらない、新聞にも叩かれない自由を得て、「日本人にそれを知らせる」活動を始めた。

四五年十二月二十四日、岡山県下で起きた七人組の拳銃強盗を追って岡山の警官が神戸・生田署に応援を求めると、それを聞きつけた朝鮮人が大挙、同署を襲撃した。警官はGHQ命令で抵抗できず、生田署ではその後二人の警官が彼等に殺されている。

**立ち上がったのは田岡一雄**

動けない警察に代わって立ち上がったのが田岡一雄だった。山口組は銃や日本刀、手投げ弾で武装し、暴れまわる朝鮮人を痛めつけ、ときには彼らが不法占拠するビルを襲って排除した。

四八年には浜松で賭博の手入れに入った警官が朝鮮人博徒に捕まって半殺しにされる事件が起きた。このときは関東霊願島一家小野組が立って警官を救出。その後、五日間にわたって朝鮮人たちと市街戦を繰り広げ、双方で三百余人の死傷者を出した。

朝鮮人の横暴は一般市民にも及ぶ。四五年十二月二十九日、信越線の駅で車窓のガラスを割って乗り込もうとした朝鮮人三人を日本人乗客が注意した。激高した彼等は列車が直江津につくと注意した日本人をホームに引きずり出し、衆人環視の中でスコップやパイプで殴り殺してしまった。これが朝鮮人なのだ。

鳩山一郎も同じ十二月末、上野からの列車に乗り込んだ際、朝鮮人の横暴に抗議した乗客が袋叩きにされるのを目撃し

ている。彼は終戦一カ月後に米国に対し原爆投下の非人道性を指摘する豪胆さを見せたが、狂犬にはただ押し黙るだけだった。四六年に入ると富阪署が武装朝鮮人に襲われ、翌二月には生田署の警官が射殺された。彼等を煽ったGHQは何の手だても打たず、それをただ笑って見ていた。

朝鮮人たちはこのころから戦勝国民を口実にしたカネ儲けに動き出した。儲け口はヤミ米と密造酒だった。彼等は羽越線坂町を拠点に農家から闇米を買い集め、到着列車に「戦勝国民・朝鮮人専用」とチョークで書いて日本人乗客を追い出し、闇米を積んで関西方面に送り出していた。

四六年九月、あまりの横暴に警官十人が検挙に乗り出すと、列車内にいた朝鮮人五十人が逆に警官を袋叩きにした。これを読売新聞と新潟日報が報じると「GHQが禁止した戦勝国民の誹謗を書いた」「誤報だとラジオで流せ」と朝鮮人が抗議した。

読売は「誤報でした」と要求に応じて謝罪したが、新潟日報社は拒絶したため、朝鮮人たちは同社を襲撃して破壊した。(後略、歴史通11月号P57-P60より抜粋)

**韓国政府は個人補償分を早く払ってやれ  
前原に議論の資格無い！**

産経新聞10月12日2面  
記事スキャン画像  
(編集)



**慰安婦問題 国連に提起**  
**韓国「救済の努力を」**  
**前原氏、基金新設を示唆**

前原氏は12日、国連で「慰安婦問題」を提起する意向を示した。韓国政府は「救済の努力を」と求め、前原氏は「基金新設」を示唆した。

前原氏は12日、国連で「慰安婦問題」を提起する意向を示した。韓国政府は「救済の努力を」と求め、前原氏は「基金新設」を示唆した。

**慰安婦問題 おさらい** 検索

**歴史問題は日本発** 検索

Q 日本は元慰安婦に対して賠償責任があるのか？

A ない。軍、官憲等による強制連行の事実が確認できない上に、昭和40年の日韓国交樹立の際に締結された「請求権・経済協力協定」によって「完全かつ最終的に解決された」ことが両国によって確認されているからだ。

日本は同協定によって無償3億ドル、有償2億ドル計5億ドルを韓国に供与する巨額の経済協力を行った(当時の韓国の外貨準備高1億3000万ドル)。

結論！  
慰安婦問題は法的にも史実的にも実在しない。河野談話による政治的幻影のみが存在し、日本の国益を損ない続けているのだ。



『花うさぎの「世界は腹黒い」』お勧め動画  
マスコミが報じない正しい歴史、日本が好きなのは必見！  
「凜として愛」「氷雪の門」「誇り～伝えよう日本のあゆみ～」  
「めぐみ」「日本がアジアに残した功績」「真実はどこに...」

わからない事は  
調べましょう！

iza プログランキング  
【全体】4位 【政治】1位  
(2011年10月8日時点)